

## 自然との共生を目指し社員が植林活動に参加 ポーラ・オルビスグループ「第2回 富士山の森づくり」プロジェクトを支援

ポーラ・オルビスグループの、オルビス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高谷成夫）と株式会社 pdc（本社：東京都港区、代表取締役社長：本橋唯志）、株式会社ポーラ・オルビスホールディングス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：鈴木郷史）は、2008年5月17日 財団法人オイスカ（注1）と協働で「富士山の森づくり」プロジェクトを実施し、植林活動を行いました。

「富士山の森づくり」プロジェクトとは、2007年4月、オイスカが山梨県や複数の企業・団体と協働してスタートさせた森づくり事業です。事業地の富士山北麓域は、2004年から山梨県によるシラベ林虫害対策事業（列状間伐を行い、針広混交樹林への「天然更新」を促す）が進められており、本プロジェクトは県の被害対策と連携し、列状間伐を行った箇所を広葉樹の植栽を行い、天然更新よりも確実にそして早く森林の再生ができるように取り組んでいるものです。

グループ内でのプロジェクトの推進役のオルビスは、1987年の創業当初より“お肌と身体だけでなく、地球の未来にとってもキレイなミライを”という思いから、外箱を使わない独自の簡易包装、エコ素材を使ったショップバック、カタログでの再生紙（FSC 認証紙）・ソイインク（注2）の使用など、様々な環境保護活動に取り組んでいます。

2002年からは、植林など環境保全活動で国際的にも評価の高いオイスカの理念に共感し、フィジー「子供の森」への支援及びマングローブの植林活動や、山梨県「武田の杜」では多くの従業員の参加による植林活動を行い、2007年からは「富士山の森づくり」プロジェクトに参加しています。

昨年よりグループ各社の従業員を巻き込んだ活動に広がり、今年も pdc、ポーラ・オルビスホールディングスの従業員を加え、総勢 149 名が参加し、1,100 本の植林を実施しました。



鹿やカモシカなどの食害から幼木を保護する白い囲い「ウッドカード」を取り付けています。「ウッドカード」は生分解性プラスチックでできているので5年後に自然に戻ります。

（注1）（財）オイスカ 1961年設立。

外務省・農林水産省・経済産業省・  
厚生労働省所管公益法人

（注2）インクの油の成分を一部、大豆から取れる植物性油で  
構成したインク。廃棄物処理時に紙と分離しやすく、  
リサイクルしやすいのが特徴

### 【リリースに関するお問い合わせ】

（株）ポーラ・オルビスホールディングス 広報担当 山田 ([maiko-yamada@pola.co.jp](mailto:maiko-yamada@pola.co.jp))、中山  
〒141-8523 東京都品川区西五反田 2-2-3 TEL 03-3494-7123

## ～オルビスの植林活動～

### □「第2回 富士山の森づくり」プロジェクト概要

日 程 : 2008年5月17日(土)  
参 加 人 数 : 149名(グループ会社参加人数含む)  
植 林 本 数 : 1,100本(約1.1ヘクタール)  
植 樹 : 富士山自生の広葉樹5種(ヤマザクラ・ハンノキ・イタヤカエデ・ブナ・ミズナラ)

#### ・2007年5月～現在

「富士山の森づくり」プロジェクトに参加、2度の植林を実施

※最初に鋤をいれたのはオルビス(株)

植林本数: 約2,100本(約2.1ヘクタール)

#### ・2002年10月～現在

フィジー「子供の森」への支援及びマングローブの植林活動

植林本数: 35,800本

#### ・2002年4月～2007年8月

山梨県甲府市「武田の杜」にて植林活動。5回の植林と6回の下草刈りを実施し、約3ヘクタールに植林を終了。現在では、四季折々の植物を楽しめる森となっています。

植林本数: 6,990本(約3ヘクタール)

## ≪「富士山の森づくり」プロジェクト実施背景≫

多くの人に愛される富士山に、一種異様な枯れ地が発生したのは、2002年のこと。シラベ人工林が100ヘクタールもの規模で病害虫に被害を受けました。山梨県は、人工林の早期復旧と、さらに環境に適した強い森づくりへ向け、本プロジェクトを始動しました。

激害地では枯損木を除去、被害の少なかった周辺の林には、今後の被害防止と周辺の樹木から落ちてきた種子が自然発芽し、生育していく遷移を利用した「天然更新」を促すため列状間伐を施し、ミズナラ、ブナ等の富士山自生の広葉樹を植樹。限りなく自然に近く、環境の変化に強い混合林へと誘導していく植林を始めました。今後約10年をかけ、継続的な植林・下草刈りと、専門家による長期的な保育・保全活動により森づくりを進めていきます。



≪シラベ≫

### □「富士山の森づくり」プロジェクト概要

実 施 場 所 : 山梨県鳴沢村富士山地内県有林  
(標高1,600m、対象面積約100ha、内植栽面積50ha)

活 動 形 態 : 山梨県、林業関係者、企業・団体(8社)等の協働

活 動 期 間 : ボランティアによる植栽、下草刈りなどの活動→約10年間  
専門家による保育、保全活動→長期的に実施

### □財団法人 オイスカ概要 <http://www.oisca.org>

団 体 名 : 財団法人 オイスカ

代 表 者 名 : 会長 中野良子

本 部 所 在 地 : 東京都杉並区和泉3-6-12 TEL:03-3322-5161

創 立 : 1961年10月6日

主 な 活 動 : 海外では農業を基本とした村づくりや人材育成、植林などの環境保全活動を実施。  
また、国内においても学校林活動や森づくり活動を積極的に取り組んでいます。